



奥谷浩一教授

(野幌森林公園・瑞穂の池にてゼミ生とともに)

奥谷 浩一教授の履歴、研究業績等の概略

■履 歴

- 1970年 3 月 北海道大学文学部哲学科西洋哲学専攻卒業
- 1972年 3 月 北海道大学大学院文学研究科修士課程修了（文学修士）
- 1976年 9 月 北海道大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1976年10月 札幌商科大学商学部専任講師
- 1977年 4 月 札幌商科大学商学部助教授
- 1979年 4 月 札幌商科大学人文学部助教授
- 1982年 9 月 ドイツ連邦共和国ルール大学ボーフムに留学（1983年 8 月まで）
- 1984年 4 月 札幌学院大学人文学部助教授（校名変更）
- 1988年 4 月 札幌学院大学人文学部教授
- 1989年 4 月 札幌学院大学人文学部人間科学科長（1991年 3 月まで）
- 1994年 7 月 ドイツ連邦共和国ルール大学ボーフムに留学（同年 9 月まで）
- 1997年 4 月 札幌学院大学人文学部人間科学科長（1998年 3 月まで）
- 1999年 4 月 札幌学院大学理事（2001年 3 月まで）
- 2007年 4 月 札幌学院大学人文学部長（2009年 3 月まで）
- 2009年 4 月 札幌学院大学人文学部長（2010年 3 月まで）
- 2010年 4 月 札幌学院大学学長（2013年 3 月まで）
- 2015年 4 月 札幌学院大学定年退職
- 2015年 4 月 札幌学院大学名誉教授

<研究業績>

(1)著書

- 『ヘーゲル読本』（共著），法政大学出版局，1987年 2 月
- 『ヘーゲル事典』（共著），弘文堂，1992年 1 月
- 『生命の共生と社会的共同の倫理学』（単著），アイワード，1997年 5 月
- 『北海道と環境保護』（編著），札幌学院大学生協，2003年10月
- 『哲学的人間学の系譜』（単著），梓出版社，2004年 3 月
- 『環境思想キーワード』（共著），青木書店，2005年 4 月
- 『ハイデガーの弁明—ハイデガー・ナチズム研究序説』（単著），梓出版社，2009年 3 月

(2)論文

- 「ヘーゲルの普遍・特殊・個別論」（単著），『哲学』第9号，北大哲学会，1973年 7 月

「ヘーゲルの方法概念」(単著),『哲学年報』第20号,北海道哲学会,1973年7月

「(改稿)ヘーゲルの普遍・特殊・個別論」(単著),『唯物論』第2号,汐文社,1974年7月

「ヘーゲル『論理学』における判断論」(単著),『哲学の探求』第2号,全国若手哲学者ゼミナール,1974年11月

「ヘーゲル『論理学』における判断と実在(1)」(単著),『札幌唯物論』第23号,1975年10月

「ヘーゲル『論理学』における判断と実在(2)」(単著),『札幌唯物論』第24号,1976年1月

「ヘーゲルの対象把握と推理論(1)」(単著),『札幌商科大学論集』第15号,1976年3月

「アリストテレスの矛盾律試論」(単著),『哲学』第12号,北大哲学会,1976年7月

「事実と価値の哲学的諸問題」(単著),『哲学の探求』第4号,全国若手哲学者ゼミナール,1976年7月

「矛盾律をめぐる諸問題(1)」(単著),『札幌商科大学論集』(人文編)第22号,1978年12月

「矛盾律をめぐる諸問題(2)」(単著),『札幌商科大学論集』(人文編)第24号,1979年3月

「タヴァニェッツ『形式論理学と哲学』の紹介と検討」(単著),『札幌商科大学論集』(人文編)第24号,1979年3月

「ヘーゲルの理念論」(単著),『哲学』第16号,北大哲学会,1980年7月

「レーニンのフィヒテ評価について」(単著),『思想と現代』第3号,白石書店,1985年9月

「フィヒテ哲学とレーニン」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第38号,1985年12月

「形式論理学と弁証法」(単著),『ヘーゲル読本』(加藤尚武編),法政大学出版局,1987年2月

「アルノルト・ゲーレンの哲学的人間学の問題点(1)」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第41号,1987年10月

「マルクス経済学の方法(1)」(単著),『札幌唯物論』第33号,1988年7月

「現代人間論の諸形態」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第43号,1988年9月

「哲学的人間学の系譜」(単著),『札幌学院大学人間学概論講義要綱』,1989年4月

「マルクス経済学の方法(2)」(単著),『札幌唯物論』第34号,1989年7月

「アルノルト・ゲーレンの哲学的人間学の問題点(2)」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第45号,1989年8月

「アルノルト・ゲーレンの哲学的人間学の問題点(3)」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第49号,1991年3月

「反映論批判への私見(1)」(単著),『札幌唯物論』第36号,1991年9月

「アルノルト・ゲーレンの哲学的人間学の問題点(4)」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第50号,1991年12月

「反映論批判への私見(2)」(単著),『札幌唯物論』第37号,1992年10月

「アルノルト・ゲーレンの哲学的人間学の問題点(5)」(単著),『札幌学院大学人文学部紀要』第52号,1992年12月

- 「クリスティン・シュレイダー＝フレチュットの『モデル，科学的方法，環境倫理学』」，（単著）『応用倫理学研究』Ⅰ，千葉大学教養部倫理学研究室，1993年3月
- 「トム・ロックモアによるハイデガー・ナチズムの批判」（単著），『札幌唯物論』第41号，1996年10月
- 「人間科学の系譜と方法の問題」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第60号，1997年3月
- 「人間科学の系譜と方法」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第63号，1998年3月
- 「ディープ・エコロジーの評価をめぐる」（単著），『札幌唯物論』第43号，1998年10月
- 「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論(1)」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第66号，1999年1月
- 「ヴィエッタのハイデガー擁護論(1)」（単著），『札幌唯物論』第44号，1999年10月
- 「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論(2)」，（単著）『札幌学院大学人文学会紀要』第68号，2000年9月
- 「ヴィエッタのハイデガー擁護論(2)」（単著），『札幌唯物論』第45号，2000年10月
- 「ハイデガーの弁明」（単著）『札幌唯物論』第46号，2001年10月
- 「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論(3)」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第70号，2001年12月
- 「ハイデガー『事実と思想』の真実と虚構—ハイデガーの弁明再論—」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第71号，2002年3月
- 「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論(4)」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第72号，2002年12月
- 「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論(5)」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第73号，2003年3月
- 「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論(6)」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第75号，2004年3月
- 「野幌森林公園における森林保護のための市民活動」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第75号，2004年3月
- 「野幌森林公園の『危険木』伐採問題」（単著），『北海道の自然』第42号，2004年3月
- 「プレスナーの人間学における中心性と脱中心性の概念」（単著），『哲学年報』第51号，北海道哲学会，2004年7月
- 「その後の野幌森林公園『危険木』伐採問題と台風18号」（単著），『北海道の自然』43号，2005年3月
- 「若きプレスナーの思想形成過程(1)」（単著），『札幌学院大学人文学会紀要』第77号，2005年3月
- 「我が国における脳死・臓器移植の現在とその新たな法改正の問題点」（単著），『札幌学院大

- 学人文学会紀要』第78号, 2005年10月
- 「ハイデガーとシュタウディング事件」(単著), 『札幌唯物論』第50号, 2005年12月
- 「脳死・臓器移植の現在を問い直す」(単著), 『札幌唯物論』第50号別冊, 2006年2月
- 「北海道の海鳥をとりまく自然生態系の危機を考える」(単著), 『北海道の自然』44号, 2006年3月
- 「雨森芳洲と新井白石の朝鮮観」(単著), 『札幌唯物論』第51号, 2006年10月
- 「朝鮮通信使47年間の空白と「易地聘礼」にかんする思想史的考察: 江戸時代の日本思想史の一断面」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第80号, 2006年11月
- 「サハリンの石油・天然ガスの開発問題」(単著), 『北海道の自然』第45号, 2007年3月
- 「ハイデガーと『シュテルンハイム作戦』」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第81号, 2007年3月
- 「21世紀の人間科学(1)」(単著), 『人文学部報』第27号, 2007年11月
- 「『ハイデガー裁判』の経過と結末」(単著), 『札幌唯物論』第52号, 2007年12月
- 「大学における環境教育の現状と課題」(単著), 『SGU教師教育研究』第22号, 2008年3月
- 「『ハイデガー裁判』の行方」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第83号, 2008年3月
- 「21世紀の人間科学(2)」(単著), 『人文学部報』第28号, 2008年3月
- 「ハイデガー哲学と国民社会主義」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第84号, 2008年11月
- 「ハイデガーと反ユダヤ主義」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第85号, 2009年3月
- 「シェーラーの哲学的人間学とハイデガーとの対決(1)」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第86号, 2009年12月
- 「アクセル・ホネットの物化と承認の理論」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第96号, 2014年11月
- 「環境倫理学から見た熊沢蕃山の思想」(単著), 『札幌学院大学人文学会紀要』第97号, 2015年2月
- 「丸山眞男の日本思想史論の問題点」(単著), 『札幌学院大学総合研究所紀要』第2巻, 2015年3月
- 「ハイデガーの『ヒューマニズム書簡』」, 『札幌唯物論』第61号, 2015年10月(印刷中)

(3)翻訳

- フランク・フィードラー『自然科学と社会科学の統一』(共訳), 大月書店, 1973年10月
- ムイスリフチェンコ『マルクス主義の人間概念』(共訳), 大月書店, 1977年1月
- タヴァニエッツ「形式論理学と哲学」(単訳), 『札幌商科大学論集』人文編第25号, 1979年10月
- ペ・ヴェ・コプニン「科学の論理的基礎」(1)(単訳), 『札幌商科大学論集』人文編第28号, 1981年1月

オットー・ペグラー「『精神現象学』の解釈に寄せて」(1)(単訳),『札幌商科大学論集』
人文編第31号,1982年8月
オットー・ペグラー「『精神現象学』の解釈に寄せて」(2)(単訳),『札幌商科大学論集』
人文編第33号,1983年7月
ヘーゲル『懐疑主義と哲学の関係』(共訳),未来社,1988年3月
『新ヘーゲル読本』(共訳),法政大学出版局,1991年5月
ヴィンセント・ホープ『ハチスン,スミス,ヒュームの道徳哲学』(共訳),創風社,1997年3月
トム・ロックモア『ハイデガー哲学とナチズム』(共訳),北海道大学図書刊行会,1999年3月
ハイデガー「事実と思想。1933/34年の学長職」(単訳),『札幌学院大学人文学会紀要』第70
号,2001年12月
シュレイダー＝フレチェット「環境倫理学と科学的方法」(単訳),『札幌学院大学人文学会
紀要』第77号,2005年3月
ルザヴィン『科学的研究の方法』(共訳),法政大学出版局(未刊)
ヘルムート・プレスナー『有機的なものの諸段階と人間』(共訳),法政大学出版局(未刊)

(4)その他

(以下に主なものを掲げる)

書評「宮本十蔵著『哲学の理性』」,『唯物論』第9号,汐文社,1978年5月
随筆「私のドイツ留学始末記」(1),『札幌学院評論』第2号,1984年10月
随筆「私のドイツ留学始末記」(2),『札幌学院評論』第3号,1985年3月
書評「上島・中野・藤井著『トロツキーとゴルバチョフ』」,『週刊読書人』第1713号,1987
年12月
書評「松石勝彦著『資本論の方法』」,『日本の科学者』Vol.23 No.7,1988年7月
書評「前号批評・現代社会と西欧マルクス主義」,『思想と現代』第19号,1989年9月
書評「杉田聡著『人間にとって車とは何か』」,『札幌唯物論』第36号,1991年12月
「ヘーゲル詳細年譜」,『ヘーゲル事典』所収,弘文堂,1992年1月
書評「前号批評・社会主義の危機からの再生を求めて」,『思想と現代』第28号,1992年2月
論説「韓国断想」,『札幌唯物論』第42号,1997年10月
報告「札幌学院大学エル・ネット・オープン・カレッジ」,『札幌新名所』(さっぽろ文庫
78),2001年9月
随筆「ギトリスのヴァイオリン」,『札幌学院評論』第37号,2004年3月
報告「オーストラリアでの野生生物の研修に参加して」,『N C』第123号,北海道自然保護協会,
2004年10月
論説「生物の大量絶滅の時代にわれわれは何をなすべきか」,『鳥獣保護ネットワークニュー

ス』第2号, 2004年11月

報告「サハリン石油プロジェクトに関連する二つの会合にかんする報告」, 『NC』第123号,
北海道自然保護協会, 2005年3月

論筆「蓬萊列島幻想—私と琉球列島」, 『沖縄と北海道』, 札幌学院大学人文学部船津研究室,
2005年3月

論説「北海道の自然と野生生物を油汚染事故から守ろう」, 『油汚染国際ワークショップin
札幌・記録集』, 油汚染国際ワークショップ実行委員会・国際動物福祉基金・日本環境災
害情報センター, 2006年3月

書評「稗田一俊『鮭はダムに殺された』(岩波書店)」, 『NC』第126号, 北海道自然保護協会,
2006年3月

論説「簾舞川地すべり災害工事は無駄な公共事業である」, 『北海道の自然』第45号, 北海道
自然保護協会, 2007年3月

論説「自然環境問題から見たサハリンの石油・天然ガス開発」, 『HEERO Report』第65号,
北海道雇用経済研究機構, 2007年7月

講演記録「『野幌原始林』の自然と歴史をたずねて」, 『平成19年度生涯学習リレー講座「再
発見!野幌森林公園」講演集録』, 江別市生涯学習推進協議会, 2008年3月

論説「日光と朝鮮通信使」, 『北海道新聞』, 2010年3月24日夕刊

書評「『ハイデガーの弁明—ハイデガー・ナチズム研究序説』」(自著紹介), 札幌学院大学図
書館『書林』, 2010年3月

論筆「ある日の帰り道」, 『奥谷ゼミ論集』第10号, 2013年3月

書評「イヴォンヌ・シェラット著『ヒトラーと哲学者』」, 『図書新聞』第3210号, 2015年6
月13日

項目執筆『哲学中辞典』, 知泉書館, 2015年12月(印刷中)

(5)学会発表

「ヘーゲルの絶対的方法」, 北海道哲学会((北海道大学), 1972年7月

「ヘーゲルの普遍・特殊・個別論」, 北海道大学哲学会(北海道大学), 1973年7月

「ヘーゲルの判断論」第2回全国若手哲学研究者ゼミナール(箱根湯本), 1974年8月

「アリストテレスの矛盾律」北海道大学哲学会(北海道大学), 1976年7月

「事実と価値の哲学的諸問題」, 第4回全国若手哲学研究者ゼミナール(長浜), 1976年8月

「ヘーゲルの理念論」, 北海道大学哲学会(北海道大学), 1980年7月

「人間科学の系譜と方法」, 第3回「フォーラム人間科学を考える」(札幌学院大学), 1998年
7月

「プレスナーの哲学的人間学における位置性の理論」, 北海道哲学会(北海道大学), 2003年
7月

「我が国の脳死・臓器移植の現状と課題」, 京都学園大学人間文化学会（京都学園大学）,
2006年10月

<社会貢献活動>

江別市生涯学習推進協議会理事および総務委員会委員長（2001年5月から2015年5月まで）

江別市社会教育委員会委員および副委員長（2006年4月から2010年5月まで）

江別市廃棄物減量化推進審議会委員（2006年6月から2010年5月まで、および2013年6月から2015年5月まで）

社団法人・北海道自然保護協会理事および常務理事（2000年4月から2008年4月まで）

NPO法人・北海道海岸美化を進める会理事（2013年4月から現在にいたる）

札幌学院大学社会連携センター／コミュニティ・カレッジ講師（2000年5月から現在にいたる）

<表彰>

2012年度 北海道社会貢献賞（教育）受賞